

福岡の海における生物多様性及び 水中環境保全のための活動

活動地域 福岡県

LOVE BLUE助成
3年目
実践

環境への意識が高まった参加者の割合	98%
講演・授業・写真展等の開催回数	28 回
今年度計画の達成度	90%
目標達成度	85%



非日常の実体験を通して考えるイベント「海のみらい」

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

「海ごみ」というテーマに対し、ネガティブに伝えるだけでなく、前向きに考え行動していく輪を広げるためにはどのように取り組むべきか、という点において試行錯誤した。

■ 工夫した点

「ごみを拾う」だけでなく、水中世界を体験を通じて楽しむことや、地元の海の魚介類を使ったランチで海からの恵みを受けることなど、参加者の心に残る付加価値を付けた。

課題

多様な生物が暮らす福岡の海の豊かさや、海底に堆積する海ごみの問題について、福岡に住む多くの人々はそれぞれの事実もよく知らないこと。

目標

水中世界や海ごみ問題について、体験や写真・映像等を通じて誰にでもわかりやすく伝えることで、市民が海の保全に向けて自発的に気づき、考え、行動すること。

活動内容と成果

- 水中スノーケル体験やアマモ場の造成、海中海岸同時クリーンアップイベントの開催
海での実体験を通して、地元の海の環境課題や人間の生活との繋がりに関して考えるプログラムを実施し、年間延べ350人以上が参加した
- 授業・講演・写真展、イベントの実施
リアルな水中写真や映像を用いて、県内各地で環境保全啓発を行った
- 行政や漁協、教育機関、企業、他NPOとの連携・活動展開が進んだ
- 行政や漁業者と連携した海ごみ削減のための啓発活動において3,000人を超える市民に「リデュース」意識の啓発を行った



海と生きる、海を守る



海を元気にする海草「アマモ」を植付け！

全助成期間の活動を振り返って

全助成期間を通じて、当団体の理念である「自然伝承」を軸とした様々な活動を行った。活動のほとんどは、ふくおかFUN単体で行うものではなく、行政や地域、漁業者、研究者、教育機関、NPO、企業、といった多様な主体と協力、連携しながら取り組むことで高い相乗効果が生まれ、年齢や地域、立場といった壁を越えた幅広い層とともに水中環境について考え行動する場を創り出すことができた。

〒819-0044
福岡県福岡市西区生松台3丁目19番4号
電話：092-407-6970
E-mail：uminogakko@fun-fukuoka.or.jp
HP：www.fun-fukuoka.or.jp



今後の展望

今後も、博多湾を中心とする福岡の海の豊かな自然環境を次世代まで繋いでいくため、信憑性が高く誰の目にも分かりやすい水中の情報をもとに事業を展開し、また、体験や対話を通じてさらに多くの人々に地元の海に触れてもらうことを目指す。そして、同じ意識や想いをもつ関係機関との情報共有、発展的な意見交換を強化することで、課題解決のための新しい考えや手法を生み出し、実践していきたい。